

高校ベンチャー留学2012～第6期生～

東京の社長に会いに行こう！この4日間の出会いがあなたの人生を変える！

★期	間	平成24年8月6日（月）～8月9日（木）の4日間
★参	加	今治市の高校生 10名
★内	容	8月6日（月）～8月8日（水）東京 日本でいちばん大切にしたい会社へ選ばれた企業4社、ふるさと企業2社、法政大学大学院へ訪問。 8月9日（木）愛媛 愛媛大学にて成果発表会

プログラム

タイムスケジュール	
2012年8月6日（月） 高校ベンチャー留学 1日目（東京）	
時間	内容
【留学ゼミ1】 13:00～ 14:30	株式会社ゲットイットへ訪問 代表取締役/廣田 優輝 氏    

【留学ゼミ2】 15:10～ 17:00	株式会社シェアードバリュー・コーポレーションへ訪問 代表取締役/小林 秀司 氏    
-------------------------------------	--

2012年8月7日(火) 高校ベンチャー留学 2日目(東京)	
時間	内容
【留学ゼミ3】 09:00～ 10:30	株式会社アールキューブへ訪問 代表取締役/坂田 健 氏    

【留学ゼミ4】

13:00~

14:30

サイボウズ株式会社へ訪問

代表取締役/青野 慶久 氏



【留学ゼミ5】

15:00~

16:30

株式会社パイブドビッツへ訪問

代表取締役/佐谷 宣昭 氏



2012年8月2日(水) 高校ベンチャー留学 3日目(東京)

時間	内容
【留学ゼミ6】 09:00~ 10:30	コンテンツワークス株式会社へ訪問 代表取締役社長/荻野 明彦 氏    
11:00~ 12:00	法政大学大学院
13:00~ 14:00	発表会資料作成

2012年8月9日(木) 高校ベンチャー留学 4日目(愛媛大学)

時間	内容
【成果発表会】 10:30~ 12:00	高校ベンチャー留学を経て、自分が今後どういう目標を軸に1年後、2年後を生きていくかを定める「自分プロジェクト」を作成し、一人一人真剣に取り組んで堂々と発表しました。 この高校ベンチャー留学に参加したことで、改めて自分が今後どうしていきたいかを改めて考えるきっかけができたのではないのでしょうか。    

高校ベンチャー留学に参加して、東京の社長さんと出会ってどう感じましたか？

 今治北高等学校 2年生 菅 美咲 さん	(株)シェアードバリュー・コーポレーションの小林社長さんのお話を聞いて一番心に残っているのが四つの幸せです。私は今まで幸せとは自分で手に入れるものだと思っていました。けれど、実際には誰かに愛され誰かに必要とされ、誰かの役に立ち、誰かに褒められることで幸せを感じることができると聞いて、幸せは自分一人で手に入れることが出来るものではなく、誰かと関わることで得られるものだということを学びました。 これからは、この四つを達成できるような人になりたいと思います。
 今治東中等教育学校 5年生 池上美咲季 さん	(株)ゲットイットの廣田社長さんのお話で、一番心に残っていることは「ゴミ箱は宝」「足で稼ぐ」「目指すならプロ中のプロ」などの利は元にあるというお話でした。 また、家族みたいな会社を創りたいという言葉聞いた時に、他の企業と少し違った点で大きな収穫でした。このベンチャー留学で学んだことを、大事にしていきたいです。また、家族みたいな会社を創りたいという言葉聞いた時に、他の企業と少し違った点で大きな収穫でした。このベンチャー留学で学んだことを、大事にしていきたいです。
 明德高等学校矢田分校 2年 三野 拓夢 さん	サイボウズ(株)の青野社長さんのお話はとても分かりやすくて印象に残るところがありました。高校生の時は忙しいけれどとにかく自分が熱中できることを挑戦することが大事だと語ってくれました。僕にとってはとても分かりやすく有意義な時間だったと思います。 今は高校生活でしかできないことに精一杯に取り組むことで自分の将来が見えてくるような気がしました。 青野社長さんのお話を今後から普段の生活で役に立つよう努力したいと思います。
 今治北高等学校 1年生 濱本 輝 さん	サイボウズ(株)の青野社長さんの高校時代のお話を聞いたら、株式会社サイボウズに着いた時の緊張がいつの間にか解けていました。 印象に残った事は、コンピューターを使って今の勉強を変えたいという高校時代の夢です。 現代、もうそんな世の中になっているのではないかと思います。一番印象に残った事は、「場所は関係ない。経験することが大事。」という言葉です。 青野社長から聞いたお言葉を、今後役に立てるように、日々精進します。
 今治東中等教育学校 5年生 保利香奈子 さん	今回、様々な企業の社長さんのお話を聞いて、共通していたことは、社員を大切にしているということでした。育児休暇、介護休暇はもちろんのこと、残業が基本的にないことに驚きました。また、社員の強みを大切にしていました。今回のテーマであった「日本でいちばん大切にしたい会社」とは、経営理念や社員満足、行動指針を実施している会社だと思いました。 このような会社が集まって、日本経済の再生をはかってほしいと思います。
 今治北高等学校 1年生 近藤 秀一 さん	パイブドビッツの社長の佐谷さんは今治市の出身の方で、田舎の愛媛と都会の東京の差が話の中でよく分かりました。都会にも田舎にも長所と短所があり、二律背反だったそうです。 しかし、都会に出てからは田舎の方が良いかもしれないと仰っていました。パイブドビッツさんは情報を管理し、操作する「情報の銀行」のような仕事をしていると聞き、AKB総選挙での投票結果を管理しているという話を聞いて驚きました。
 今治東中等教育学校 5年生 越智 拓弥 さん	コンテンツワークス(株)の荻野さんのお話を聞いて自分と性格が似ているなと思い、同感することがたくさんありました。 いい会社とは何かと考えさせられて、普通に考えてみれば「楽しい会社」なのですが、荻野さんは「働く人が生き生きとして自分の存在を喜ぶことができる会社」と言うのを聞いて、上に立つ人は考え方が想像力豊かだと思いました。 せっかく大切な時間をいただいたので、吸収できるものは吸収して将来に役に立てるように頑張りたいです。



明德高等学校矢田分校 2年生
山下 真弘 さん

何事にも消極的な自分を少しでも変えたいと思い、このベンチャー留学に参加しました。そして、現地に行って一日一日過ぎてゆく中で自分を出せるようになってきたと実感しました。名刺交換の際、名刺の向きを逆にして出してしまったことなど失敗もたくさんしました。

普段、聞くことのできない経営者の方々のお話、大学生やほかの高校生との交流でとても内容の濃い四日間を過ごせました。これからもどんどん自分を出していきます。



明德高等学校矢田分校 2年生
森 修平 さん

(株)アールキューブ坂田社長のお話をお聞きして、チャレンジをする事の大切さを知りました。

決められた道を進んでいくだけでは人生は充実したものにはならず、何かに挑戦することを繰り返せば人生の新しい観点を見出すことができ、そして充実した人生を生き生きと送ることが出来ると知りました。

社長さんのこれらのお話は本当に将来に役立つと思います。これからこのベンチャー留学での経験を生かしたいです。



今治東中等教育学校 5年生
山崎 友雅 さん

私は自分の夢が明確ではなくて、悩んでいました。

しかし、(株)パイブドビッツの佐谷社長が言ってくれたのです。

夢は作るものではなく、出会うものもの。いい夢と出会える人生を歩めばいい。」私はその言葉を聞き、衝撃を受けたと同時に心が楽になりました。

これからはそんなことで悩まず、この言葉を胸に人生を歩もうと思いました。人生の先輩のお話とはとても心に残り、勉強になりました。

高校ベンチャー留学新聞 2012

2012. 8/6~8/9 in Tokyo

ふるさと企業

サイボウズ株式会社



サイボウズマン

サイボウズの製品・サービスを象徴する企業キャラクターです。



青野社長と写真を撮りました！！



今回お話を聞いた中に、幸せになるコツは誰かの役に立つことというのがありました。私は今まで幸せは自分自身と関係のあるものだと思っていたけど、他人と関わる事で自分が幸せを感じられるということを知りました。誰かの役に立つという点で、サッカー部のマネージャーをしている私には幸せを感じる機会が多くあるのかなと思いました。また、私も公明正大を自分のルールの一つとして将来の夢に向かって頑張っていこうと思います。(菅 美咲)



同じ愛媛県出身の方だと知った時から、すごく興味と感心を持っていました。青野さんのお話の中で、「働き方は自由であっていい。」という考え方や「グローバルは、田舎の方が

いい。」というお話を聞いて、決まった働き方をしても自分自身や企業は成長しないと改めて気付くことができ、田舎でもたくさん活躍できること、田舎でしかできないこともあると考え直しました。今回、青野さんから学んだことを今後に役立てていきたいと思っています。(池上 美咲季)



青野さんのお話はとても分かりやすく印象に残るところがありました。高校生の時は忙しいけれどとにかく自分が熱中できることを挑戦することが大事だと語ってくれました。

僕にとってはとても分かりやすく有意義な時間だったと思います。今は高校生活でしかできないことに精一杯に取り組むことで自分の将来が見えてくるような気がしました。

青野社長さんのお話を今後から普段の生活で役に立つよう努力したいと思っています。(三野 拓夢)



青野社長の高校時代のお話を聞いたら、株式会社サイボウズに着いた時の緊張がいつの間にか解けていました。印象に残った事は、コンピューターを使って今の勉強を変えたいという高校時代の夢です。

現代、もうそんな世の中になっているのではないかと思います。一番印象に残った事は、「場所は無関係。経験することが大事。」という言葉です。青野社長から聞いたお言葉を、今後役に立てるように、日々精進します。(濱本 輝)



青野社長が勉強以外で就職に必要なものはコミュニケーション能力だと仰いました。今回のオリンピックの女子バレーの監督は試合に出場する選手だけでなく、控えの選手にも平等に

話すように心掛けています。密な意思疎通が出来ていたからこそメダル獲得だと思いました。

また、青野社長の今の夢はもっともっと自由なチームワークを作ることだと仰いました。コミュニケーション能力の必要性を感じました。(保利 香奈子)

ふるさと企業 ■ 株式会社パイブドビッツ

佐谷社長と写真を撮りました！！



中央
佐谷 宣昭 代表取締役社長 株式会社パイブドビッツ

上左から
山崎 友雅 今治東中等教育学校5年生
濱本 輝 今治北高等学校1年生
西山 和馬 愛媛大学2年生
山下 真弘 今治明德高等学校矢田分校2年生
三野 拓夢 今治明德高等学校矢田分校2年生
森 修平 今治明德高等学校矢田分校2年生
越智 拓弥 今治北高等学校2年生

下左から
近藤 秀一 今治北高等学校1年生
保利 香奈子 今治東中等教育学校5年生
池上 美咲季 今治東中等教育学校5年生
菅 美咲 今治北高等学校2年生
窪田 萌美 愛媛大学2年生
天満 裕佳 愛媛大学2年生



パイブドビッツの社長の佐谷さんは今治市の出身の方で、田舎の愛媛と都会の東京の差が話の中でよく分かりました。都会にも田舎にも長所と短所があり、二律背反だったそうです。

しかし、都会に出てからは田舎の方が良いかもしれないと仰っていました。パイブドビッツさんは情報を管理し、操作する「情報の銀行」のような仕事をしていると聞き、AKB総選挙での投票結果を管理しているという話を聞いて驚きました。(近藤 秀一)



最初、佐谷社長を見た時、いかにも社長だなと思いました。

見た目で判断してしまい話づらいと思っていましたが、いざお話をすると話しやすく気持ちが楽になりました。話の中で「むやみに夢を作るとそれは夢ではない。」と聞いて、今までに

親や先生に勝手に夢を作らされて嫌々やっていたので、この言葉を聞いて、もしその夢が叶ったとしても続かないだろうと思いました。個性が強く、他の企業がやっていない事を積極的にやりたいと思います。(越智 拓弥)



佐谷社長は、お話の中で「夢はこだわらない方がいい。夢を持つにしても具体性のある夢を持つ方がいい。」とおっしゃっていました。

僕はその言葉を聞いて、今自分なりに持っている夢をより具体的にするために何をしたらいいかを考えるきっかけを貰いました。また、佐谷社長がお話の中でしきりに使われた「腹に落ちる」という言葉を帰って辞書で調べてみたら「納得する」という意味だと知り、この話がよく分かりました。(山下 真弘)



佐谷社長のお話をお聞きして、自分の将来の夢への勉強をどうしたらいいのかが分かりました。具体的には、志望大学を決めるには、心からその大学で納得しているかどうか

大切であるということを学びました。さらに、「起業するには今の世の中に必要なものは何かを考える。」「夢とは親が決めるものではなく、自分で出会うものである。」ということも学びました。これらのことを将来の糧にしたいです。(森 修平)



私は自分の夢が明確ではなくて、悩んでいました。しかし、佐谷社長が言ってくれたのです。「夢は作るものではなく、出会うものもの。いい夢と出会える人生を歩めばいい。」私はその言葉を聞き、衝撃を受けたと同時に心が楽になりました。これからはそんなことで悩まず、この言葉を胸に人生を歩もうと思いました。人生の先輩のお話はとても心に残り、勉強になりました。

(山崎 友雅)



AKB総選挙の投票結果を(株)パイブドビッツが集計した。このスーツケースは投票結果をAKB総選挙が行われた会場の司会者に運んだ時に使用したものの。サインは前田敦子の直筆。

日本でいちばん大切にしたい会社 に選ばれた企業へ訪問



『日本でいちばん大切にしたい会社』
著者：坂本 光司(さかもと・こうじ)氏

株式会社ゲットイット

経営理念 『太陽のように、月のように ～強く・優しく・逞しく～』



最初はずっと緊張していました。でも、廣田さんが足を骨折したことで人生が大きく左右された話には驚きました。

一番心に残っていることは「ゴミ箱は宝」「足で稼ぐ」「目指すならプロ中のプロ」などの利は元にあるというお話でした。また、家族みたいな会社を創りたいという言葉聞いた時に、他の企業と少し違った点で大きな収穫でした。このベンチャー留学で学んだことを、大事にしていきたいです。また、家族みたいな会社を創りたいという言葉聞いた時に、他の企業と少し違った点で大きな収穫でした。このベンチャー留学で学んだことを、大事にしていきたいです。(池上)

「自分の物語を生きる。」私は廣田社長のこの言葉がとても心に残っています。今まで、「～しなさい」とか「～すべきだ」とか人に指示されて決断し、行動していた自分がいました。

しかし、「～すべき」よりも「～したい」という思いが大切だと廣田社長は言っていました。私はその言葉通り、自分が興味を持った、したいと思うことをして、「自分の物語」を生きようと思いました。(山崎)

株式会社シェアードバリュー・コーポレーション

経営理念 『社員に笑顔を 会社に輝きを』

小林社長のお話は、とても共感できるところがあり、全国の優良企業への視察をたくさんしている事は自分の会社にとってプラスになる事をたくさん見つけれられます。人本主義というものは、社員の永続的な幸せやモチベーションの向上、自ら働き、人を大切にするという考え方です。僕が起業したらシェアードバリュー・コーポレーションさんの人本主義を習って、自分のことより社員のこと、社員のことでお客様のことをモットーに頑張りたいです。(濱本)

お話を聞いて一番心に残っているのが、四つの幸せです。私は今まで幸せとは自分で手に入れるものだと思っていました。けれど、実際には誰かに愛され誰かに必要とされ、誰かの役に立ち、誰かに褒められることで幸せを感じることができると聞いて、幸せは自分一人で手に入れること

が出来るものではなく、誰かと関わることで得られるものだということを学びました。

これからは、この四つを達成できるような人になりたいと思います。(菅)



株式会社アールキューブ

経営理念 『みんなが惚れる いい会社を みんなで創る』



アールキューブさんは今までのハンバーガーの常識を覆したと言われています。確かにアールバーガーさんのハンバーガーは素材にこだわり、色々な工夫をこらし、オリジナルのハンバーガーを作られていました。

そして、社員一人一人の意見を尊重した会議をしていると仰っていました。将来の夢は少年漫画のワンピースの麦わら海賊団のように明るく楽しい会社を創ることだそうです。(近藤)

坂田社長のお話をお聞きして、チャレンジをする事の大切さを知りました。決められた道を進んでいくだけでは人生は充実したものにはならず、何かに挑戦することを繰り返せば人生の新しい観点を見出すことができ、そして充実した人生を生き生きと送ることが出来ることも知りました。これからこのベンチャー留学での経験を生かしたいです。(森)

■ コンテンツワークス株式会社

経営理念 『世界で一番「ありがとう」であふれる会社』

荻野さんのお話を聞いて自分と性格が似ているなと思い、同感することがたくさんありました。いい会社とは何かと考えさせられて、普通に考えてみれば「楽しい会社」なのですが、荻野さんは「働く人が生き生きとして自分の存在を喜ぶことができる会社」と言うのを聞いて、上に立つ人は考え方が想像力が豊かだと思いました。せっかく大切な時間をいただいたので、吸収できるものは吸収して将来に役に立てるように頑張りたいです。(越智)

これからは「心の時代」を切り開くことが求められるのがよく分かりました。単に企業は物を売買するのではなく、人の心をいかにして大切にすることが大事だと思いました。

悲惨な事が積み重なって、表情が悪ければお客さんにそれなりの印象を与えてしまう。

どんな時代にも関わらず笑顔は人前では必要不可欠であることが勉強になりました。お金や物などの利益よりも大事なことがあることをこれから忘れないようにしたいです。(三野)



総括 高校ベンチャー留学を経て...

何事にも消極的な自分を少しでも変えたいと思い、このベンチャー留学に参加しました。そして、現地に行って一日一日過ぎてゆく中で自分を出せるようになってきたと実感しました。名刺交換の際、名刺の向きを逆にして出してしまったことなど失敗もたくさんしました。普段、聞くことのできない経営者の方々のお話、大学生や他校の高校生との交流でとても内容の濃い四日間を過ごせました。これからもどんどん自分を出していきます。(山下)

今回、様々な企業の社長さんのお話を聞いて、共通していたことは、社員を大切にしているということでした。育児休暇、介護休暇はもちろんのこと、残業が基本的に無いことに驚きました。また、社員の強みを大切にしていました。今回のテーマであった「日本でいちばん大切にしたい会社」とは、経営理念や社員満足、行動指針を実施している会社だと思いました。

このような会社が集まって、日本経済の再生をはかってほしいと思います。(保利)

引率からひとこと

今回、引率として高校ベンチャー留学に参加しました。密なスケジュールの中、慣れない土地で様々な企業の社長さんに直接お話を聞くという事は緊張もあり大変だったかと思いますが参加者の皆さんはよく最後まで付いて来てくれたと思います。

この事業に参加するにあたり参加者の志望動機には、自分の進路や具体的な目標を持てていないという焦り、

この世界的不況の中で企業がどうやって乗り越えてきたのかという事について興味を持っている方が多かったです。

訪問した企業の社長さんは経営内容のお話はもちろんのこと、働くとはどういう事か、人と一緒に働く上で何を心掛けているかなど、起業を目的としていなくても生きていく上で大切な事をお話して下さいました。

普段の生活では聞けない話を聞いて、視野を広げ改めて自分の事について考えるきっかけができたのではないのでしょうか。(今治地域地場産業振興センター 日浅)

